

<p>【法的根拠】 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領</p>	<p>学校の教育目標 「生きる力」を支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視するとともに、東京都、江戸川区の教育目標を受けて、人権尊重の精神に基づき、心身共に健康で知性と感性に富み、ふるさと「えどがわ」を愛する心をそなえた人間性豊かな児童の育成を目指す。</p>	<p>【地域の実情】 地域と学校との連携を大切にしている。 【学校の実情】 教員の年齢層も若く、新しい発想での学習活動が期待できる 【生徒の実態】 どの学年も比較的低年齢であり、意欲的に学習や行事に取り組む姿勢がある。 【教師の願い】 児童一人ひとりの個性を大切にしながら集団の中で活躍できる児童の育成</p>
--	--	---

<p>特別活動の目標</p>	<p>望ましい集団生活を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。</p>
----------------	---

<p>目指す児童像</p>	<p>・自分の考えを分かりやすく相手に伝え、多様な考えのよさを生かして課題を解決できる児童 ・協力してよりよい学校生活や人間関係を積極的に築こうとする児童 ・自分の役割の意義に気づき、責任を果たすとともに、活動の目標について振り返り、生かすことができる児童</p>
---------------	--

<p>特別活動の重点目標</p>	<p>・全特別活動の学習過程を通し、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として協力して、よりよい学校生活を送れるようにする。 ・学んだことを生かして、自発的・自主的に活動し、そこで身につけたことを教科学習に生かす。 ・さまざまな活動に取り組む際、あてをもち、その振り返りを積み重ねることで成長を確かめるとともに、課題に気づかせ、解決してよりよい生活をしようとする自主的・実践的な態度を育てる。</p>
------------------	--

目標	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
指導の方針	<p>○楽しく豊かな学級生活づくりのために、互いに尊重しよさを認め合えるような人間関係を築くために、低学年では仲良く助け合おうとする人間関係、中学年では協力し合おうとする人間関係、高学年では信頼し支え合おうとする人間関係の育成を重視する。 ○自己のよさや可能性を生かして学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、社会の一員として責任をもって行動しようとする態度を育成する。</p>	<p>○異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的・実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p>	<p>○異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的・実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p>	<p>○全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。</p>
主な指導内容	<p>○学級や学校の生活づくり ア学級における生活上の諸問題の解決 イ学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ学校における多様な集団の生活の向上 ○日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全(生活習慣、人間関係、健康安全、食育) ○一人一人のキャリア形成と自己実現(将来像、社会参画)</p>	<p>○学校的全児童により組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行う。 ・各学期に代表委員会の実施 ・児童会の計画と運営(代表委員会・各種委員会) ・異年齢集団による交流(児童集会) ・学校行事への協力(各種委員会) R8年度の委員会 集会、放送、保健、給食、運動、図書、環境、掲示、計画</p>	<p>○学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行うこと。 ・クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 ・クラブを楽しむ活動 ・クラブの成果の発表 R8年度のクラブ 野球、バレーボール、料理・手芸、ダンス、イラスト・まんが、劇団、自習学習、ミュージック 計8クラブ</p>	<p>○全校又は学年や学年という大きな集団の特質をよく理解し、児童が各々の学校行事に積極的に参加できるようにしたり、役割を担ってその責任を果たすことができるようになり、共に喜びや苦勞を分かち合いながら目標を達成することができるようにしたりするなど、望ましい体験的な活動が展開できるようにする。</p>
各教科・読書科	<p>○各教科等の指導で身に付けた言葉を的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させる。特に、学級会の進め方などの指導は、国語科の学習内容との関連を図って指導する。 ○「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。</p>	<p>○各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた自主的・実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かしたりできるようにする。</p>	<p>○各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにするとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。</p>	<p>○機制的行事：学校や地域の事象について学習したことを基に、学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。 ○文化的行事：国語や音楽、図画工作などの学習の成果を発表し交流しあうことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○健康安全・体育的行事：体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度を育成する。 ○遠足・集団宿泊の行事：社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○勤労生産・奉仕的行事：生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。</p>
他の教育活動との関連	<p>○低学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲良く助け合うことを、中学年では、友達と互いに理解し信頼し助け合うこと、みんなで作って楽しく学級をつくることを、高学年では、互いに信頼し、学び合い、協力し助け合うこと、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。</p>	<p>○下学年は、わがままをしないで自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し、節度の生活を送ることを、中学年では、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。</p>	<p>○4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり続けること、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること、5、6年生は、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくすること、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。</p>	<p>○機制的行事では、礼儀正しく真心をもって行動すること、みんなで作って協力し合いよりよい校風をつくること、郷土や国を愛する心をもつこと、文化の行事では、美しいものや気高いものに感動すること、健康安全として、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け、生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊の行事では、自然環境を大切にすることを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。</p>
外国語活動	<p>○外国語活動で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動に生かせるようにする。</p>	<p>○外国語活動で学んだコミュニケーションの場面や働きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。</p>	<p>○「相手との関係を円滑にする」、「事実を伝える」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。</p>	<p>○外国語活動で身に付けた国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人人と相互の立場を尊重、協同しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。</p>
総合的な学習の時間	<p>○総合的な学習の時間で身に付けた自分とのかかわりに基づく課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。</p>	<p>○総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。</p>	<p>○総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。</p>	<p>○総合的な学習の時間の環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊の行事との関連や、総合的な学習の時間に行われる社会とのかかわりを考える学習活動としての体験活動と、勤労の尊さや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を重視する。</p>
家庭や地域との連携	<p>○楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況に配慮したり、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点から踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。</p>	<p>○児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりする。また、学校行事に協力する児童会活動として、運動会を行う際に敬愛席を用意して地域の高齢者を招待するなどして、地域の福祉に携わる活動や仕事をしている人々の協力を得たりする活動などを行う。</p>	<p>○児童の興味・関心を基本としながら、地域のおもてなしや語りなどの伝統芸能や文化と関連付けて、外部講師や地域の教育力を活用するなど、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。また、地域のスポーツ施設に向向いて、地域のお年寄りによるチームと対戦することなどの活動も考慮する。</p>	<p>○文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいように、期日などを考慮したり、地域の伝統文化に触れる活動や地域の行事と学校行事との関連を図って実施するなどして、学校行事について積極的に地域の人々に理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。</p>
備考	<p>・委員会活動 月1回 金曜日6校時 ・児童集会 木曜日 8:25～8:40 ・代表委員会 年3回実施</p>	<p>・金曜日 6校時</p>		